

平成 24 年度事業計画

平成 22 年 3 月に開催された「第 44 回通常総会」の決議にもとづき申請した「公益法人への移行」について、昨年の 12 月 7 日付けで神奈川県公益認定審議会から神奈川県知事に対し、横須賀市シルバー人材センターは公益社団法人の認定の基準に適合すると認めるのが適当であると答申が出されました。

この結果、平成 24 年度より「公益社団法人横須賀市シルバー人材センター」として新たなスタートを切ることとなります。公益社団法人への移行に伴い、センターは社会的な信用を高めることになり、企業等からの受注拡大や会員増強につながるものと期待しております。

平成 24 年度事業方針

シルバー人材センターを取り巻く環境は大変厳しく政府の行政刷新会議の事業仕分けによる補助金の大幅削減、長期化する景気の低迷による民間企業からの受注の減少、公共事業は地方自治における行・財政改革による事業のスリム化が進められシルバー事業全体に大きな影響を与えております。

平成 24 年度の事業計画を策定するにあたり、事業の基礎となる予算については昨年度、会員、お客様の利便性向上のために実施した事務所移転による貸借料増加と、それに伴う光熱費増加等により厳しい状況となりました。しかし、徹底的な経費の見直しや事務の効率化に取り組み、全体としては前年度に比べ支出を減らし例年並みの事業を推進する事を目指した予算編成となりました。

厳しい財政状況は今後も続きます。この状況を予測し対策をたてることや、本来なら早急に取り組むべきである組織づくりなども今までは手つかずの状態で様々な課題が累積しています。

他の多くのシルバー人材センターでは、植木や除草などの「職能班」による効率的な就業体制や、理事や会員が「就業開拓」「広報」「適正就業」「総務」などの委員会を立ち上げ、効率的なセンター運営に取り組んでいます。横須賀市シルバー人材センターにおいても、このような機能的な組織づくりが必要です。

平成 24 年度は新たな事業に取り組むことはできませんが、この難局を打開するために役員と会員、事務局が一体となり将来にわたり魅力ある横須賀市シルバー人材センターを目指すため「中期計画策定委員会」を発足します。委員会では現在の横須賀市シルバー人材センターに欠けている「機能的な組織づくり」をベースとした中期計画を策定し実行することで、将来的に安定した団体運営を目指していきます。

平成24年度事業計画の主要テーマは、(1) 公益社団法人としての運営体制の確立、(2) 中期計画の策定、(3) 赤字体質からの脱却、として事業を推進します。

事業実施計画 (23年度と違う場合はカッコ内に記載)

1 受注開拓活動の推進と就業機会の拡充

- | | |
|-------------------|--|
| (1) 会員等による受注活動 | 各会員の自主的活動 |
| (2) 会員によるボランティア活動 | 目標5回 (23年度計画2回) |
| (3) 新聞等への広報活動 | 6回 (23年度計画14回以上) |
| (4) 就業率の向上目標 | 65%以上 (23年度計画63%以上) |
| (5) 訪問介護事業所 | 利用者の生き方や気持ちを大切にしたいきめ細かな
介護サービスを推進します。 |
| (6) 契約額 | 5億5千万円 |

2 新規会員の加入促進

個々の会員の勧誘と1の活動に合わせて平成25年3月末の
会員数1,550人を目標とします。

3 会員の知識・技術の向上

- | | |
|------------------|------------------|
| (1) 緑樹管理補助員講習会 | 1回、4日 (23年度計画8日) |
| (2) 刈払機等安全講習会 | 1回 |
| (3) ハウスクリーニング講習会 | 1回、5日 |
| (4) 植木初級・中級研修会 | 各1回、8日 |
| (5) 接遇講習会 (新規) | 1回 |
| (6) AED講習会 (新規) | 1回 |

4 活力ある組織および運営体制の充実

- | | |
|-------------------|-----------------------------------|
| (1) しごと別グループ活動の拡大 | 既設3グループ以外の設置を目指す |
| (2) 活力、生きがい増進の促進 | 高齢者を対象とするゲート・ボール、
ボウリング大会開催の協賛 |
| (3) 地域班活動の活発化の促進 | 各班が独自に取り組む |

